

## モアレのデザイン検討

### Case 1-1



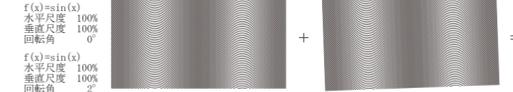
### Case 1-2



### Case 1-3



### Case 1-4



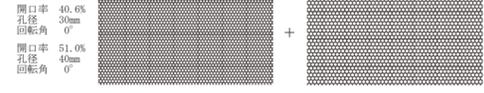
### Case 1-5



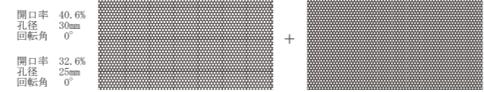
### Case 1-6



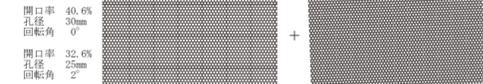
### Case 2-1



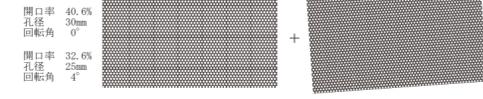
### Case 2-2



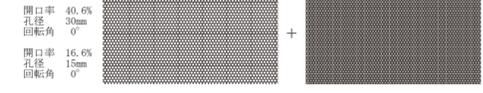
### Case 2-3



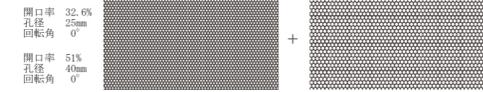
### Case 2-4



### Case 2-5



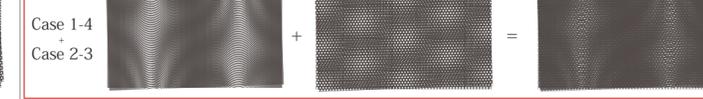
### Case 2-6



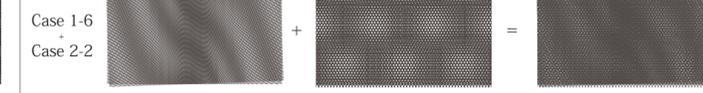
### Case 1-4



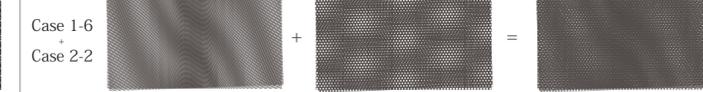
### Case 1-4



### Case 1-6



### Case 1-6



## モアレの選定

### Case 1 線によるモアレ

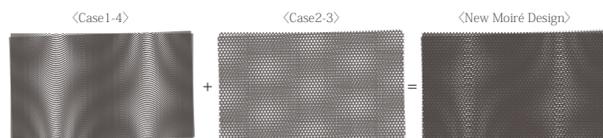
まず、線の組み合わせによるモアレを検討した。単一方向性ではなく、うねりを生むような複数の方向性を示すモアレが見られた〈Case1-4〉を採用した。

### Case 2 円によるモアレ

小さな円が組み合わさること大きな円のモアレが発生する。その模様が顕著かつリズムをもってぼんやりと浮かびあがる〈Case2-3〉を採用した。

### モアレの組み合わせ

風景を歪ませる〈Case1-4〉と、規則的な模様によりズレを与える〈Case2-3〉を組み合わせ、規則的かつ不規則な模様を生む新しいモアレ模様をデザインする。



## 反射する日常

この建築は、曲線のプリントされた透明塩ビシートをパンチングメタルで挟むことで構成されている。パンチングメタルの表面が鏡面になっているため、様々な風景を反射させる。見る角度によって違った風景を写し込み、モアレにより歪ませる。

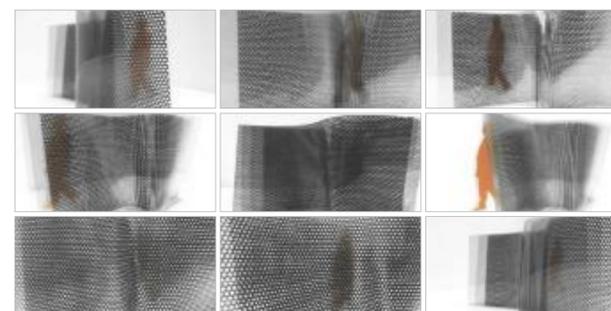
ネクタイを直すサラリーマン、行き交う電車、せわしく歩く人々.....

反射する風景と向こう側の風景が混ざり合う。



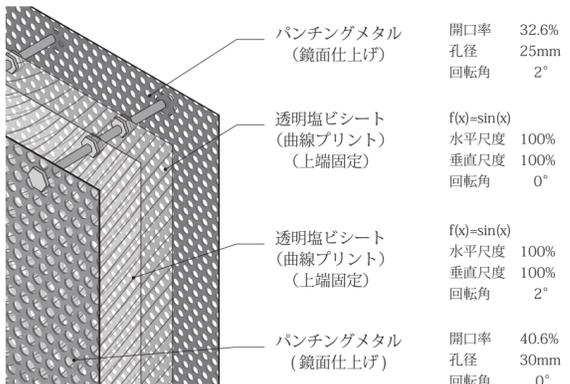
## 変化する模様

4枚の重なり合うレイヤーは見ると角度や距離、速度などに呼応して様々な模様を見せる。また、レイヤー自体にうねりを加え、形態的にも奥行きを加えることでより多様な表情をつくりだした。



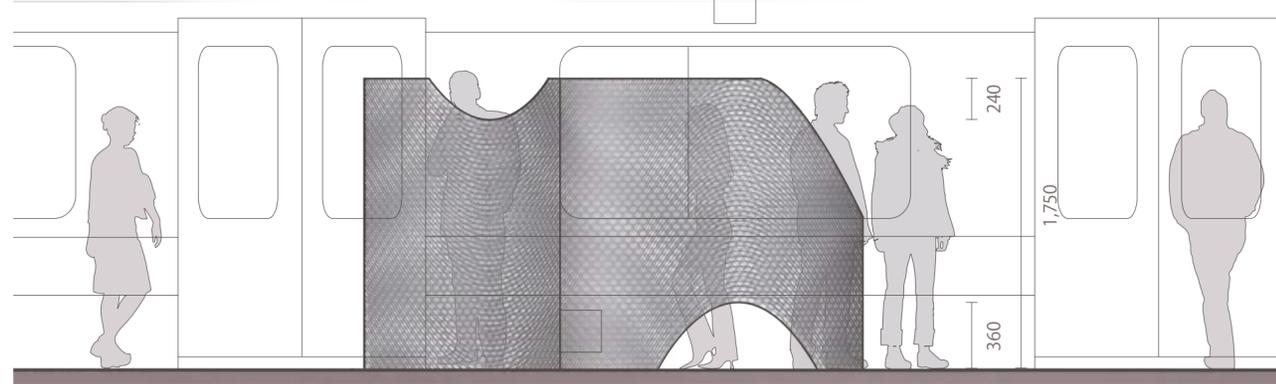
## モアレパネルの構成

この建築は2枚のパネルと2枚のシートの合計4枚から構成されている。透明な塩ビシートをパンチングメタルで挟み、4枚が隙間をもって並んでいる。



## 立面図 S=1/30

モアレを生む曲線の形状に合わせて外型を切り取る。これにより奥の風景の歪んだ部分と歪まない部分が両方同時に現れる。



## 平面図 S=1/30

